

日本に 伝来した 朝鮮鐘

九州国立博物館では、展示の魅力をさらに感じていただくため対談や講演等のミュージアム講座を実施しています。今年度は月一回の月例講演会として、文化交流展示室の紹介を行う講座を行っています。一月は、文化交流展示室IVテーマに関連して、日本に伝来した朝鮮鐘について紹介します。

2008年1月13日(日)

14時～15時半

九州国立博物館 1階ミュージアムホール

講師：伊藤信二（当館文化財課 資料管理室長）

申し込み不要（定員 300名、先着順）

入場無料

当館四階の文化交流展示室では、平成十七年の開館以来、日本に伝来した朝鮮鐘（朝鮮半島で制作された釣り鐘）を、継続して展示してきました。現在は、博多・承天寺からお借りした鐘を陳列しています。今回のミュージアム講座では、これまで当館で展示させていただいた作品をご紹介しながら、日本とくに西日本に数多く伝来している朝鮮鐘について、その特色や歴史をお話します。

